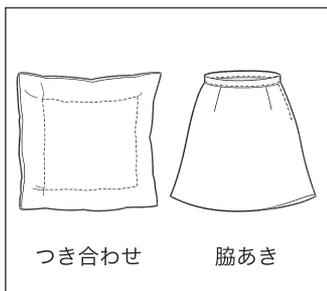
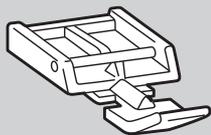


片押え (ファスナー付け用)



つき合わせ 脇あき

仕上がり例

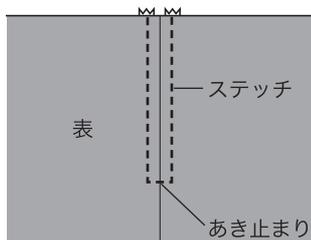
用途：
ファスナー付けをするときに
使用します。

▲ 注意

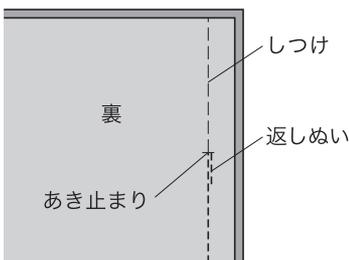
- 押えの交換は、必ず電源を切ってから行ってください。万一スイッチが押されると、ミシンが作動してケガの原因になります。

■ つき合わせ

クッション、袋物などに使います。

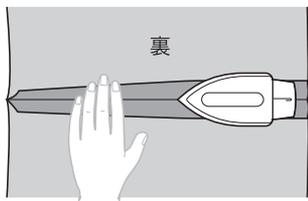


- ① ジグザグ押え<J>を取り付けて、あき止まりから下側に地ぬいをします。布地は中表にし、あき止まりは返しぬいをします。

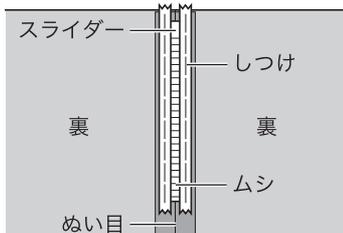


- ② ファスナーを付ける部分のでき上がり線にしつけをします。

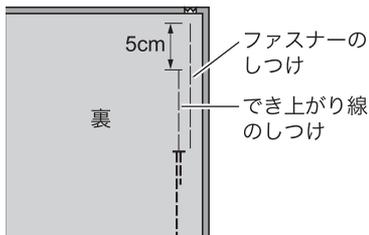
- ③ ぬいしろを割り、裏からアイロンをかけます。



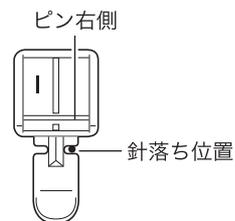
- ④ ぬい目のラインにファスナーのムシの中心を合わせてしつけをします。



- ⑤ でき上がり線のしつけを布端から5cm程度ほどきます。



- ⑥ 片押え<I>のピンの右側を押えホルダーに取り付けます。



- ⑦ 直線（中基線）を選択します。

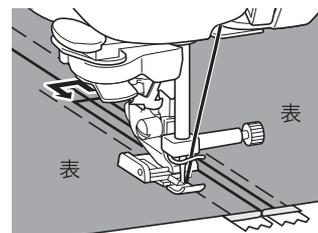
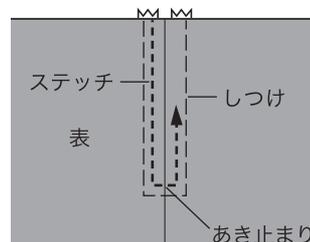


※直線（中基線）の模様为例

▲ 注意

- 片押え<I>を使用するときは、必ず直線（中基線）を使用し、プーリーをゆっくりと手前に回して針が押えに当たらないことを確認してください。他の模様を使用すると、針が押えに当たり、折れたり曲がったりするおそれがあります。

- ⑧ 布地の表からステッチをかけます。ファスナーのスライダーが押えに当たる場合は、スライダーを何回か動かしながらステッチをかけます。



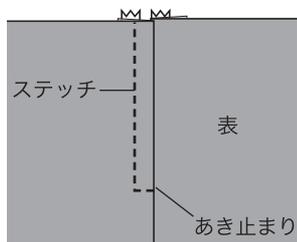
▲ 注意

- ぬう際には、ファスナーに針が当たらないように注意してください。針が折れたり曲がったりするおそれがあります。

- ⑨ しつけをほどきます。

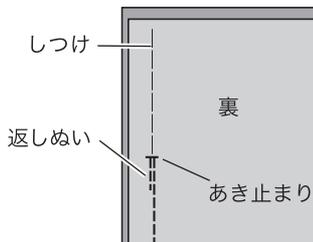
脇あき

スカートやワンピースの脇あきに使います。

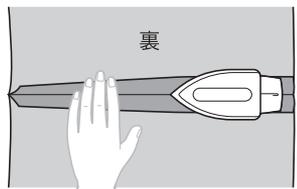


- ① ジグザグ押え<J>を取り付けて、あき止まりから下側に地ぬいをします。布地は中表にし、あき止まりは返しぬいをします。

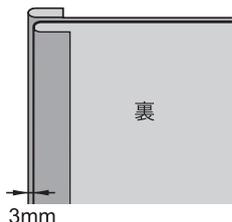
- ② ファスナーを付ける部分のでき上がり線にしつけをします。



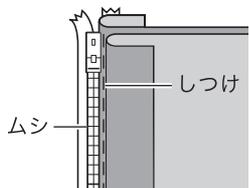
- ③ ぬいしろを割り、裏からアイロンをかけます。



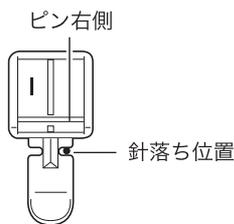
- ④ 右側（ステッチが入らない方）のぬいしろを3mm出してアイロンをかけます。



- ⑤ 3mm出した折り山とファスナーのムシの端を合わせて、しつけまたはまち針で留めます。



- ⑥ 片押え<I>のピンの右側を押えホルダーに取り付けます。例と反対側をぬう場合は、左側のピンを取り付けます。



- ⑦ 直線（中基線）を選択します。

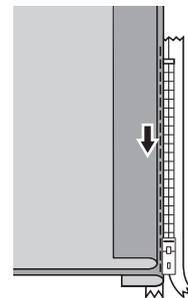


※直線（中基線）の模様の例

注意

- 片押え<I>を使用するときは、必ず直線（中基線）を使用し、プーリーをゆっくりと手前に回して針が押えに当たらないことを確認してください。他の模様を使用すると、針が押えに当たり、折れたり曲がったりするおそれがあります。

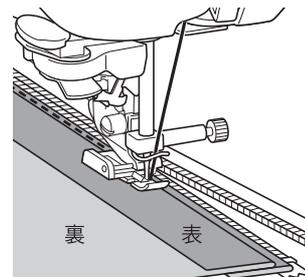
- ⑧ 3mm出した折り山部分を、あき止まりの方からぬいます。



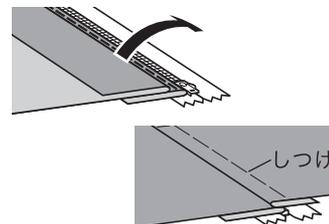
注意

- ぬう際には、ファスナーに針が当たらないように注意してください。針が折れたり曲がったりするおそれがあります。

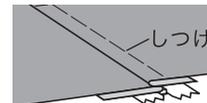
- ⑨ 残り5cmほどまでぬったらミシンをストップさせ、針を下げたまま押えを上げます。



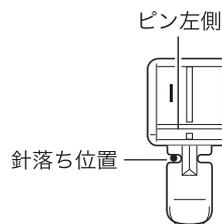
- ⑩ ファスナーを開いて続きをぬいます。



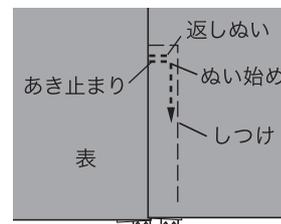
- ⑪ ファスナーをとじて表に返し、反対側をしつけします。



- ⑫ 片押え<I>のピンの左側を押えホルダーに取り付けます。⑥で左側に取り付けた場合は、右側に取り付けます。



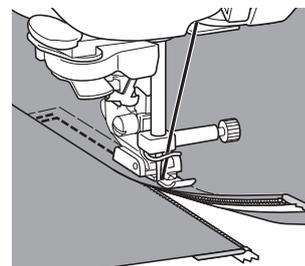
- ⑬ 布地の表からステッチをかけます。あき止まり側から返しぬいをし、しつけをめやすにしてぬいます。



注意

- ぬう際には、ファスナーに針が当たらないように注意してください。針が折れたり曲がったりするおそれがあります。

- ⑭ 残り5cmほどまでぬったらミシンをストップさせ、針を下げたまま押えを上げます。



- ⑮ でき上がり線のしつけをほどいてファスナーを開き、続きをぬいます。